

岐阜県 下呂温泉 飛騨川に佇む100帖空間の畳風呂物語の宿 小川屋 高校・企業・宿泊施設の“三位一体”で取り組む「楽天IT学校」に参画 ～インターネット商取引に、もっと人と人との触れ合いを～

当館「小川屋」(名称:株式会社小川屋、所在地:岐阜県下呂市湯之島570、代表取締役:野村 勝)は、日本三名泉に数えられる下呂温泉のもと、60年以上続く伝統のおもてなしと、飛騨川を臨む絶景のロケーション、日本一の朝ごはん、東海最大級の100帖空間の畳風呂で、お客様に長年愛されて参りました。そしてこの度、楽天株式会社が2008年からCSR活動の一環として行っている、高校生向けの電子商取引授業「楽天IT学校2016」に参加協力することにいたしました。



写真：昨年の授業の様子

インターネット商取引は“お客様と宿をつなぐ架け橋”

現在の観光業、とくに旅館の国内需要は年々減少の傾向にあります。世界的に見れば、新興国の経済発展に伴い余暇を楽しみたいという需要は全体的に増加しています。また、日本は2020年の東京オリンピックや世界遺産への登録の増加などの追い風もあり、「インバウンド」(外国人の旅行先)として魅力的な市場であると考えております。そこで、かねてより日本の旅館業の可能性についてより多くの方にお伝えしたと思っていたところ、今回のお話をいただきました。楽天株式会社とは、同社運営のインターネットモール「楽天市場」へ出店するなかで、「楽天トラベルアワード2014」を受賞するなど信頼関係を深めてきた経緯がございます。

今回、全7回約1年間の講義を「岐阜県関市立関商工高等学校」の2年生に行うことになりましたが、すでに終了した2回では、当館が楽天市場で実際に販売している商品プランをもとに、ネットショップの運営やマーケティングについて実践的に学ぶ機会となることを意識しました。ふだん顔を合わすことがない、ネットショップオーナーの試行錯誤を垣間見て、「画面の向こう側にいる“人”へ商品を売る醍醐味」を実感される学生の方も多かったようです。旅館業においてインターネット商取引は“お客様と宿をつなぐ架け橋”として、国を超えて世界にアピールできるものであるということもお伝えできたらと考え、物理的な制約にとらわれないインターネット商取引の可能性を知ってもらうことによって、それを活用した仕事に地元で携わる若者が増え、ひいては地域の活性化につながることも期待しております。

■参考URL:和みの畳風呂物語の宿 小川屋 公式HP URL: <http://www.gero-ogawaya.net/>

次ページには同講義内容の詳細及び当館の概要説明を記載しておりますので、併せてご参照くださいませ。

